



Flash News

〈フラッシュニュース〉

目次

- 文部科学省 平成18年度「魅力ある大学院教育」インシティブに採択される
- 文部科学省 平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム：地域活性化への貢献（地元型）」に採択される
- 「平成18年度国際教育推進プラン」に採択される

- 三重大学ロボコンクラブ「M³RC」学長表彰
- 平成18年度「三重県との定期懇談会」
- 「コラボ学長フォーラム」開催される
- 科学研究費補助金説明会
- 利益相反に関する講演会・説明会を開催
- 大学院生物資源学研究科が多気町と相互友好協力協定締結

- 三重大学環境SOロゴ・キャラクター決定
- 他教員の事例に学ぶMoodle学習会を開催
- 大学院工学研究科長が選出される

お知らせ

・附属図書館から

文部科学省 平成18年度「魅力ある大学院教育」インシティブに採択される



写真左から 緒方正人教授 豊田長康学長
駒田美弘研究科長 山本哲朗教授
山田康彦理事

文部科学省が公募した標記事業に、本学の「地域と時代に応える医学・医療研究者の養成」（臨床研究者養成プログラム・臨床研究地域プログラムによる実践的改革）（実施責任者：駒田美弘研究科長・大学院医学系研究科）が採択されました。このプログラムは、大学院教育の実質化、国際化、生命医科学研究の充実に加えて、連携大学院や地域医療機関を活用した治験・臨床研究の強化に重点を置き、本学の特色である県下医療機関との密接な連携やみえ治験ネットワークなどを基盤として、新しい医学系大学院の教育システムを充実・発展させようというものです。医療系分野での採択件数が11件という狭き門でしたが、医学部・附属病院のこれまでの努力、および全学的な支援体制が総体として評価されたものと言えます。今後、医学部・附属病院は勿論、全学的な協力体制の基、具体的実施計画を策定し創造性豊かな研究者の養成およびカリキュラムを展開していきます。

文部科学省 平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム：地域活性化への貢献（地元型）」に採択される

文部科学省が公募した標記事業に、本学の「教育実践力の育成と学校・地域の活性化」（中学校区全域との連携による学校・地域活性化モデル及び幼小中大連携モデルの構築）（実施責任者：上垣 渉学部長補佐・教育学部）が採択されました。このプログラムは、本学に隣接する一身田中学校区と教育学部が連携協力し、教員養成段階における学生の「実践的指導力の基礎」を涵養する教育実地研究と各学校園の各教科の教育活動、総合的な学習、課題学習および課外活動等の諸教育活動を総合的に支援し、学校・地域活性化モデルおよび幼小中大連携モデルを構築するもので、当該学校区における文化的・体育的活動、地域の福祉・健康問題・食問題等に対しても教育学部が支援し、地域の文教化に貢献していきます。



写真左から 豊田長康学長 丹保健一学部長
上垣渉学部長補佐 山田康彦理事

「平成18年度国際教育推進プラン」に採択される

文部科学省が公募した標記事業に、本学と三重県教育委員会およびNPO法人が連携し、津市が応募したプランが採択されました。この事業は、地域における国際化や国際社会で求められる人材育成のための優れた取組を支援するため募集したもので、津市のプランは、インターネットによる国際的な環境監視システムを利用して小・中学校用のカリキュラム開発を行い、その実践過程を教員や児童生徒、地域住民向けの国際理解教育に関するワークショップとして公開発表するもので、この取組には、津市立栗真小学校・津市立安東小学校・三重大学附属小学校・三重大学附属中学校・三重県教育委員会・三重大学・NPO 法人パンゲアの7組織が参加します。

三重大学ロボコンクラブ「M³RC」学長表彰

『NHK大学ロボコン2006～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～』において優秀な成績を収めた本学ロボコンクラブ「M³RC(エムキューブアールシー）」（後援：工学部機械工学科メカトロニクス研究室・野村由司彦教授）に対して7月25日に学長表彰が行われました。この大会の競技ルールは毎年変わるため、そのたび新たなロボットを創作し競技に臨みます。参加50大学77チームの中から選抜された18チームが、6月11日に開かれた本大会に出場しました。本学チームは、優勝した東京農工大学に敗れたため惜しくも決勝トーナメントに進むことは逃しましたが、自動マシンの確実な動きが評価され、特別賞（トヨタ自動車(株)賞）を受賞しました。



平成18年度「三重県との定期懇談会」

7月3日、本学において豊田学長、全理事、生物資源学研究所長、工学研究科長、医学部附属病院長および野呂知事、副知事、出納長の他、関係部局長数名による懇談会が行われました。三重県側から「県民しあわせプラン次期戦略計画について」「みえの文化力指針」「新しい時代の公・パンフ」等について、また本学から「医学部附属病院再編整備計画」「工学研究科の地域産業イノベーション貢献構想」「伊勢湾再生プロジェクト」「三重大学振興基金」等の話題を提供し、具体的な意見交換が行われ本学と三重県が積極的に連携協力関係を深める有意義な懇談会となりました。

「コラボ学長フォーラム」開催される

産官学連携推進の東京拠点として活用しているコラボ産学官において、7月11日創立2周年記念「コラボ学長フォーラム」が開催されました。内閣府や各省庁からの来賓挨拶に引続き、特別講演として国立情報学研究所顧問の末松安晴氏より「科学技術立国の真の危機とは何か?」というタイトルで講演がありました。国際比較から見てくる日本の大学支援制度の問題点などについて報告の後、本学の豊田学長をはじめ、室蘭工業大学学長など9大学の学長および理事から各大学の紹介が行われ、コラボ産学官を利用する大学同士が協力しあい、今後更なる産学連携推進に努めることで合意しました。

科学研究費補助金説明会

7月13日、本学三翠ホールにおいて、科学研究費補助金の説明会が開催されました。当日は最高気温35度を超える猛暑となりましたが、学内研究者はもとより県内の国立高専、大学等の研究者を含め100名を超える参加者がありました。豊田学長挨拶の後、森野研究担当理事から「本学の科研費採択の現状」と本学が新たに作成した「科研費の手引き」の紹介があり、引き続き日本学術振興会岡本研究助成課長から科学研究費補助金の概要と審査に関して詳細な説明がありました。その後、質疑応答では申請手続き等の実質的な質問もあり、有意義な説明会となりました。詳しくは、<http://www.mie-u.ac.jp/gakunai/kaken/setumei/2/hokoku.html>

利益相反に関する講演会・説明会を開催

6月20日、三翠ホールで、標記講演会・説明会を開催しました。これは、社会貢献・産学連携に意欲をもって取り組んでいる教職員を守り、大学として社会から信頼を得るため、教職員に利益相反に関心を持ってもらう事を目的として開催したもので、講師に、渡辺久士豊橋技術科学大学客員教授を招き、「大学における利益相反マネジメント」というテーマで講演していただきました。また、西村訓弘産学連携医学研究推進機構特命教授と社会連携チームリーダーにより、三重大学利益相反マネジメントの説明が行われました。詳しくは、本学ホームページ→[学内向け情報]→[産学連携活動における利益相反について]を参照。

大学院生物資源学研究所が多気町と相互友好協力協定締結

生物資源学研究所は6月28日、農業や教育など多分野での連携を進めるため、多気町と相互友好協力協定を結びました。現在進めている伊勢イモを始め、柿、ミカン、タケノコなどの生産指導を行うことや、現地農家を巻き込んだ地域密着型の研究が期待されています。また、本研究科の教員による生涯学習教室や学生のインターンシップも展開していきます。農林水産の専門教員がそろった本研究科が、特産物の多い多気町との協定を結ぶことにより、農業生産を核とした地域振興に貢献したいと考えています。



三重大学環境ISOロゴ・キャラクター決定

6月30日、三重大学環境ISOロゴ・キャラクター選定の表彰式が行われました。このロゴキャラクターは、環境ISO推進室・学生委員会が主催して5月に募集したもので、30件の応募作品の中から、工学部建築学科2年の稲垣 拓さんの「まもる」が最優秀賞に選ばれ、豊田学長から賞状とISO14001にちなんだ14,001円の副賞が手渡されました。「まもる」は、地球をかたどったやさしい顔を、植物の新芽や緑の葉が包み込んでいるロゴで、今後、三重大学の環境ISO活動のシンボルとして活躍します。



他教員の事例に学ぶMoodle学習会を開催

7月10日、高等教育創造開発センターの主催により、Moodle（ムードル）学習会が開催されました。Moodleは、授業のためのウェブサイトを作成するソフトウェアで、教材配信、出席管理、掲示板を用いたコミュニケーション、小テストの実施と採点・集計などが行えるeラーニングシステムの一つです。学習会では、生物資源学研究所、附属図書館、教育学部から計4人の教職員が、担当する授業や研修でMoodleを活用した事例を紹介しました。参加者にとっては、実際の教材、学習記録、学習成果に触れる貴重な機会となり、活発な質問や意見が出されました。今後の開催予定は、高等教育創造開発センター（<http://www.hedc.mie-u.ac.jp/>）のウェブサイトでご案内いたします。

大学院工学研究科長が選出される

7月12日の工学研究科教授会に於いて、研究科長に武田保雄教授が選出されました。任期は9月16日から2年間です。

お知らせ

附属図書館から「モーツァルト生誕250周年レクチャーコンサート」

9月23日（土）午後（14:00開演）、標記コンサートが三翠ホール（小ホール）で開催されます。申し込み等詳しくは、<http://www.lib.mie-u.ac.jp/exhibition/mozart/>をご覧ください。

投稿のお願い

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。亀岡孝治（vppe-info@mie-u.ac.jp）または井上真理子（mariko-i@ab.mie-u.ac.jp）まで。場合によっては、取材に向きます。《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで（<http://www.mie-u.ac.jp>）ご覧いただけます。》編集責任者/理事・副学長 渡邊悌爾